

## 第5回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」

日時 平成30年10月6日(土) 10時00分～12時00分

会場 葛城市當麻文化会館

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>ベッドタウンとして発展してきた奈良県は、他府県と比べて人口減少や高齢化が急速に進んでいます。このような状況の中、どのような人口構造になっても、健康に暮らせるよう、奈良県では健康寿命日本一を目指しています。</p> <p>健康寿命を延ばすためには、県民自らが、年齢や健康度に合わせた健康行動をとる必要があります。バランスの良い食事、適度な運動、適切な社会行動の3種類の健康行動を促進しています。バランスの良い食事に関する取組では、こども食堂等で県産食材を活用した「美味(おい)しい食事」を提供する仕組みの構築を目指しています。適度な運動に関する取組では、「まほろば健康パーク」の機能強化のほか、奈良県立大学等でシニアカレッジを開講し、大盛況となっています。適切な社会行動に関する取組では、各地に健康ステーションを設置し、「おでかけ健康法」の普及に努めています。</p> <p>一方、救急搬送受入体制の改善や県立病院の再編整備等、医療提供体制の整備も進めています。また、住まいを中心に医療・介護・生活支援サービスが行き届くよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。さらに、医療保険の安定経営に向けた取組として、国民健康保険の県単位化、医療費適正化等を推進しています。</p> <p>今後も、「誰もが健やかに暮らせる地域づくり」を、市町村と協働しながら積極的に行っていきたいと考えています。</p>

資料説明	吉田大和高田市長
	<p>大和高田市では、要介護の予備軍に働きかけて健康行動をとってもらうために、健康的な生活習慣の習得支援に取り組んでいます。</p> <p>「いきいき百歳体操」の参加者が、自分の地域で自らがリーダーとなって、自発的に広める動きもあります。</p> <p>高齢者が、健康で自分の力を最大限に「まち」や「ひと」のために発揮できる「わがまち」の実現に向けて進めていきたいと思えます。</p>

資料説明	東川御所市長
	<p>御所市では、住民主体の「通いの場」を育てていくため、行政や専門職が効果的な支援をすることで充実を図っています。</p> <p>「いきいき百歳体操」等の介護予防運動は、居場所づくりや住民同士のつながり、生きがいを生み出すツールとなっています。</p> <p>地域づくりの主役である住民の皆さんとともに、今後も地域づくりを進めていきたいと考えています。</p>

資料説明	吉田香芝市長
<p>香芝市では、住民の皆さんと協働して、介護予防、食の健康、体力づくり、がん予防、受動喫煙防止に取り組んでいます。</p> <p>介護予防では、広陵町と一緒に介護予防リーダー養成講座を実施し、がん予防では、予防推進員による検診受診の取組が知事表彰を受賞する予定です。そして、今年4月に受動喫煙防止条例を制定しました。</p> <p>これらの取組の成果が数値に反映されるよう、今後も推進していきます。</p>	

資料説明	阿古葛城市長
<p>葛城市では、医療連携と市民協働による地域包括ケアシステムに取り組んでいます。</p> <p>市医師会との協働による特定健診受診案内や、近隣市町との合同による入退院調整ルールづくり等を進めています。また、地域の支え合い・助け合い活動について話し合い、創り出す協議体を発足しました。</p> <p>今後も、多くの市民ボランティアに活躍してもらい、さらに住みやすい地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。</p>	

資料説明	山村広陵町長
<p>広陵町では、介護予防を切り口とした地域づくりの担い手として、介護予防リーダー「KEEP」を養成しています。介護予防と地域づくりを目的とする「通いの場」を「KEEP」が運営し、将来は地域の見守り活動にもつなげたいと考えています。</p> <p>また、巡回型健康教室「元気塾」の開催や、がん予防推進員の活動等を通して、誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めています。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>健康づくりでは、県と市町村だけでなく、社会福祉協議会等、それぞれがパートナーの意識を持つことが大事です。横のつながりがあれば、行動も意識も変わっていき、良い地域づくりができると思ひます。</p>	

質疑応答①	香芝市では、今年4月に受動喫煙防止条例を制定されたとのことですが、市民の反応はどのようなものですか。(香芝市在住者)
<p>(吉田香芝市長)</p> <p>受動喫煙防止条例は、受動喫煙に対する市の姿勢を明確に示したものです。公共施設を中心に、灰皿やたばこコーナーがなくなり、気持ちよく施設に行けるとい声が多く寄せられています。この取組を条例化したことに非常に大きな意義があったと思っています。</p>	

質疑応答②	北海道地震で大規模停電が問題となりましたが、こういった場合の県立病院間のデータ管理はどのように行っていますか。また、患者の投薬データ等を県が把握する体制になっていますか。(葛城市在住者)
<p>(荒井知事)</p> <p>県立病院には自家発電のシステムがあるため、電力は供給されます。患者のデータ共有については、医療関係者で共有できるようにしようという方向で国が動き出していますので、注視したいと思います。</p> <p>(阿古葛城市長)</p> <p>葛城市内の個人病院には発電設備はありませんが、新庄健康福祉センターに発電設備があります。医療行為はできませんが、被害が拡大した場合に、被災者を集める場所として活用できないか検討しているところです。</p>	

質疑応答③	御所市では、訪問での看護や介護が不足しているように思いますが、医療、介護の人材確保対策や外国人の受け入れについて、どのように考えておられますか。(御所市在住者)
<p>(東川御所市長)</p> <p>御所市では、要介護者2千人に対して、訪問看護事業所が2カ所、訪問介護事業所が13カ所あります。若干少ないように思いますが、今後どのように補完していくか考える必要があります。その中で、地域で見守りをしていくことが大切になっていくように感じています。</p> <p>(荒井知事)</p> <p>介護人材が不足している中、介護施設等で外国人の受け入れが必要になっていくと思います。そこで、外国人が日本の介護現場で仕事や生活がしやすいよう、県立高校で受け入れのための教育を実施する考えがあります。インターンシップを通して現場を知ること、離職率は減るのではないかと思います。</p>	

<p>質疑応答④</p>	<p>健康寿命を延ばすためには、健康行動が重要とのことですが、健康行動として参加できる取組を教えてください。(大和高田市在住者)</p>
<p>(吉田大和高田市長)</p> <p>保健指導として、健康アップ講座、バランス栄養教室、健康チャレンジ、「おでかけ健康法」等のさまざまな事業を実施しています。また、高齢者を対象とする介護予防教室や脳トレ教室等も行っています。</p> <p>(荒井奈良県知事)</p> <p>行政は、健康行動を行える環境づくりをする必要があります。イベントにお出かけして顔見知りを増やすことは、地域の防災・防犯にもつながっていくと思います。</p>	

<p>質疑応答⑤</p>	<p>健康寿命を延ばす取組について、県と市町村は連携して実施すべきだと思いますが、考えをお聞かせください。(広陵町在住者)</p>
<p>(山村広陵町長)</p> <p>今回のように、県から各指標データを市町村別に示してもらうことは、町として非常に励みになります。また、県の「福祉の奈良モデル」には、社会福祉協議会の役割を重要視することが含まれており、町においても社会福祉協議会に力を入れていきたいと思いません。</p>	

<当日回答できなかった質問に対する回答>

質問①	陸上自衛隊の宿舎等周辺施設を、御所市へ誘致することは可能ですか。 (御所市在住者)
<p>陸上自衛隊駐屯地は、現在、県と五條市が協力して誘致活動を行っています。陸上自衛隊の駐屯地が開設されると、そこに勤務する隊員の宿舎等の施設が設置されることが予想されます。</p> <p>駐屯地に勤務する隊員は、いざというときに直ちに駐屯地に出勤しなくてはならないことから、宿舎は、駐屯地近傍、概ね2 k m程度の範囲に建設されると聞いています。</p> <p>自衛隊の誘致は、五條市を中心として進めています。宿舎等の周辺施設に関しましては、さまざまな状況を勘案して、防衛省において判断されると想定されます。</p>	